

平成29年 春季号

仙台市

農業委員会だより

編集と発行 仙台市農業委員会
 仙台市青葉区国分町三丁目7番1号
 TEL 022(214)4308(直通)
 FAX 022(215)5803
 ホームページ <http://www.city.sendai.jp/shinko/jigyosha/kezai/norin/nogyo/sendaiishi/index.html>

発行日 平成29年5月1日



JA仙台青年部との 意見交換会を開催しました

若い農業者の方々のご意見等を農地利用最適化推進施策に反映させるため、2月15日(水)、JA仙台青年部の役員、部員の皆様と農業委員との意見交換会を開催しました。

初めに農業委員会事務局から、「農業委員会法改正について」と「農業者年金について」の情報提供を行った後、意見交換に移りました。

青年部の皆様からは、新しい制度で委嘱される農地利用最適化推進委員の仕事の内容や、農業委員の業務ややりがい、農業者年金の有利性などについて意見等が出され、活発な質疑が行われました。

また、「中山間地域には担い手が少なく、休耕地が多く見られる。水稻を作るには条件が悪いので、何か独自のブランドや地域なりの特産品を関係機関等でタイアップして広げていく必要がある」等の意見もいただき、これからの農政活動に大変参考になる意見交換会となりました。

今後も、広く農業者の方々のご意見を把握するとともに、農業委員会活動の紹介等も含めた意見交換会を行ってまいります。

第32回通常総会を開催しました

4月13日(木)に仙台市農業委員会第32回通常総会を開催し、平成29年度業務方針等が決定しましたのでご報告いたします。

1 業務方針

我が国の農業・農村は食料自給率の低迷、農業者の高齢化・担い手不足、農業所得の大幅な減少、農山村の活力の低下、さらにはアメリカとの二国間協議において農業市場の開放が一層進む恐れが強く、厳しい状況が続いている。

国においては、農業委員会の主たる使命である「農地利用の最適化」をより良く果たせるよう、平成28年4月に改正農業委員会法が

一人ひとりの農業者を応援する「農業者年金」

施行されたところであり、農地の確保と有効利用、遊休農地の解消、農地の利用状況調査、担い手への利用集積など、農地制度を運用する農業委員会の役割と責任はますます重要なものとなっている。

東日本大震災からの復旧・復興に向けては、行政・地域・農業関係団体連携のもとに鋭意取り組みが進められてきているが、真の農業復興を実感できるようにするため、地域農家の声を集約しながら地域再生のために、引き続き活動していかなければならない。

このような中、我々農業委員は、農業者の代表として期待される役割を十分に果たすため、業務推進員及び地域農業者と連携を図りながら、取り組み目標と具体的活動を定め、これまでの委員会活動を一層強化し、より実効性ある地域活動を積極的に推進するものである。

このため、重点取り組み目標として、第一に「地域活動の充実・強化」、第二に「担い手の育成・確保」、第三に「優良農地の確保と有効活用」を掲げ、地域農業の持続的な発展に資するよう全力で対応を行うものである。

また、具体的な活動として、地区振興活動による認定農業者、生産組織等の担い手の掘り起こしと

育成、担い手に対する農地の利用集積、遊休農地の調査と指導及び解消に向けた取り組み、違反転用農地の是正指導などを実施するものである。

2 業務計画

「一般活動」

- 地区振興活動の推進
- 農業者年金の加入促進
- 意見・要望書の提出
- 農業委員及び業務推進員の研修
- 震災からの復興支援活動

「農地行政活動」

- 利用権設定等促進事業、農地中間管理事業
- 遊休農地の調査と指導
- 農地移動適正化あっせん事業
- 農地の違反転用防止対策
- その他の法令業務

「農政活動及び農業振興推進活動」

- 認定農業者、女性農業者等との懇談会の開催
- 担い手の育成・確保を図るための活動
- 農業経営改善支援活動
- 遊休農地解消活動
- 農作業標準料金の策定

等

今後の行事予定

7月 女性農業者との懇談会

(J A 仙台北高砂支店)

農業者年金を受給している皆様へ

(独)農業者年金基金から5月中に「現況届」の用紙が郵送されます。6月1日(木)から30日(金)までに、最寄りのJ A 仙台各支店又は農業委員会に、持参等で提出をお願いします。

第3回

農業者委員会制度

法律で定められた業務項目が増えました。

【改正前】

① 農地法等によりその権限に属させた事項

【改正後】

①に加えて、②農地等の利用の最適化(担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進)の推進

全国農業新聞賞受賞!



「仙台市農業委員会だより」が、昭和50年から情報発信に努めていることが評価され、平成28年度全国農業委員会だよりコンクールで全国農業新聞賞を受賞しました。

業務推進員の皆様を
委嘱しました

農業委員の地区業務（農家の意見及び要望の情報収集活動等）の補助を行っていた。業務推進員66名の方々を、平成29年4月から平成30年7月14日までの任期中委嘱いたしました。よろしくお願いたします。

【青葉区】安達和郎（郷六）、戸内良司（下愛子）、庄子富治（上愛子）、早坂幸一（上愛子）、庄子悦男（芋沢）、庄子吉雄（熊ヶ根）、三浦秀雄（芋沢）、菅澤仁一（大倉）、庄子秀男（福沢町）、菊地憲雄（国見）、佐藤信悦（茂庭）

【宮城野区】沼田講記（新田）、相馬克彦（東仙台）、小野寺栄造（安養寺）、安達良和（岡田）、鈴木可和（岡田）、和地正志（中野）、三浦信昭（高砂）、鎌田広司（田子）、庄司善春（小鶴）、関内清一（岩切）、横田清孝（鶴ヶ谷）、伊藤嘉孝（岩切）

【若林区】相澤英昭（二木）、渡邊茂美（今泉）、遠藤正順（三本塚）、鈴木秀一（下飯田）、佐藤公一（上飯田）、佐藤光禧（日辺）、大泉俊雄（中荒井）、堀江英孝（長喜城）、熊坂利美（四ッ谷）、萱場肇（南方）、



＜活動状況…農地パトロール＞

菊地富雄（蒲町）、大学一男（笹屋敷）

【太白区】齋藤英一（郡山）、菅井孝彦（大野田）、庄司稔（中田）、佐藤良逸（袋原）、菅井邦男（四郎丸）、加藤金一（中田）、阿部邦彦（鉤取）、沼田正敏（山田）、板橋利光（富田）、相原元浩（富沢）、佐藤壽晴（湯元）、佐藤強（長袋）、丹野康雄（境野）、佐藤敬志（長袋）、中野信雄（馬場）、柴田廣一（馬場）、山田利彦（坪沼）

【泉区】庄司一史（根白石）、高橋孝夫（根白石）、奥山壽（西田中）、佐々木浩志（小角）、熊谷幸夫（朴沢）、早坂幹雄（福岡）、高橋昇（実沢）、若生隆夫（野村）、伊藤久夫（古内）、今野勇（松森）、石川豊（松森）、嶺岸隆雄（市名坂）、安藤克夫（七北田）、残間久男（七北田）
（順不同・敬称略）

第2回地区振興委員会を
開催しました

2月1日(水)から13日(月)にかけて、区ごとに地区振興委員会を開催しました。

平成30年以降の米価対策や遊休農地に対する課税強化など、区ごとにテーマを設けて情報提供を行った後、農地利用の最適化推進等に関して意見交換を行いました。作付けする作物を工夫した有害鳥獣対策や、未整備地での農地集約の難しさ、大区画ほ場整備での組み田問題などが話し合われました。いただいたご意見等は、今後の施策に反映されるよう進めてまいります。



一人ひとりの農業者を応援する「農業者年金」

農業委員会事務局 案内図

農業委員会事務局 青葉区二日町6-12 MSビル二日町6F

電話 214-4308

駐車の際は、市役所本庁舎の来庁者用駐車場をご利用ください。

あっせん事業による
農地の売買を行っています

買受できる方は
①認定農業者の方
②仙台市内で130a以上耕作している方です。

あっせん農地等の詳しい情報をお知りになりたい方は、農業委員会事務局事務課農地係（電話 214-4340）までお問い合わせください。

※ホームページでもご覧になれます。

農地移動適正化あっせん事業 仙台市

検索

あなたの出番です

太白区富沢南にお住まいの

小池 奈美子さん

にお話しを伺いました。



Q 農家のお生まれですか？

A 公務員の父と元銀行員の母の家庭で育ちました。仙台に来るまでは、横須賀で看護師をしていました。

Q 農家に嫁いでいかがですか？

A 昔から父の家庭菜園を手伝っていたので、農業に対しての抵抗はありませんでした。野菜が大好きなので、毎日新鮮なものが食べられてとても幸せです。

Q どのような農作業をしていますか？

A 主にパセリ、雪菜、小松菜の出

荷作業をしています。また大手スーパーの産直コーナーへも30種類以上の野菜を出しています。直接お客さんの声が聞けるので、とてもやりがいがあります。

Q これからの目標は？

A 市街化が進んでいるので、環境に適した栽培方法を取り入れ、今まで作ったことのない野菜や品種に挑戦してみたいです。

Q あなたの楽しみと夢は？

A 年に数回、家族と温泉に行つておいしい物を食べたり、お土産を買うことが一番の楽しみです。今は子供たちが小さいので行けません。将来大好きな主人と二人で日本全国くまなく旅行するのが夢です。(笑)

(聞き手：庄子榮一郎委員)

がんばっています

宮城野区小鶴

今野 実治さん

私の家は専業農家で、子どもの頃から、父の跡を継いで農業をしようと思っていました。

宮城県農業高等学校を卒業後就農し、今年で16年目になります。

野菜はハウスと露地あわせて50a、水稲は委託されている分も含

めて10haで、家族で耕作しています。

私は主に水稲の水管理と草刈りを担当していましたが、昨年父が他界してしまい、一人で水稲を行うことになったので、畑のほうは食べる分だけにしようと思つています。

5年ほど前から岩切生産組合でお世話になり、大豆・麦の生産に携わっています。コンバイン操作などを担当していますが、先輩方いろいろな教わることも多く、とても助けられています。

近年は、農家にも私たち世代の後継者が少なく、米の生産ができなくなる方が多くて、作つてくれと頼まれることも増えてきました。祖父や父の時代は、ハウスきゅうりやトマトに力を入れ、市場出荷を行っていたときもありましたが、



年々燃料費が高騰していることもあり、私の代では水稲が主な仕事になりそうです。

野菜もそうですが、自分で半年かけて育てた米は格別です。今はパン食が主流になりつつありますが、私は主食は米だと思つています。秋に収穫した新米を農協に持つて行つた時の達成感があるから、それまでの疲れも吹っ飛びます。

農業については日々勉強の毎日ですが、幸い私には農協青年部の仲間との交流もあり、また地域の先輩方にも教わりながら、頑張つていきたいと思つています。

(担当：鈴木正年委員)

編集後記

風薫る5月、ほ場からはトラックターや田植え機の音が響き渡り、農作業が本格化しています。私たち農家にとつて、事故や災害の無い年でありますように願いたいと思つています。

このたび、「仙台市農業委員会だより」が県コンクールで優秀賞を受賞し、お知らせしたとおり、全国農業新聞賞もいただきました。今後ともより良い紙面にと、編集委員一同頑張つてまいります。

(編集委員長 阿部弘昭)